

福寿大学の受講生を募集します

問長浜市民交流センター (☎65-3366)

健康、歴史、経済、くらしなどをテーマにした全7回の講座です。心豊かな生きがいのある人生を送りませんか。
 ※10月17日(水)に参加自由・料金別途の研修旅行を予定しています。
【ところ】 市民交流センター(地福寺町)
【対象】 市内在住・在勤の人

【定員】 280人
【受講料】 2,500円(全7回)
【申込期間】 5月10日(木)～ 9時～16時(水曜日休館)
 ※定員になり次第受付終了。
【申込み】 受講料を添えて直接市民交流センターまでお申し込みください。

回	開講日	テーマ	講師 (敬称略)
1	6月6日(水)	福寿大学30周年記念講演 「世の中はなせウソがまかり通るのか」	中部大学教授(特任教授) 武田 邦彦
2	7月6日(金)	「毎日を まめにいきいき 健やかに ～からだ・こころの元気のヒント～」	浅井東診療所 所長 松井 善典
3	7月26日(木)	「雨森芳洲と朝鮮通信使」	高月観音の里歴史民俗資料館 副参事 佐々木 悦也
4	8月10日(金)	「詩が開いた心の扉 ～奈良少年刑務所での試み～」	作家 寮 美千子
5	9月18日(火)	法話コンサート「ありがとう」	光明寺住職・シンガーソングライター 三浦 明利
6	10月2日(火)	「湖北地方の気象に関する話」	彦根地方気象台 出前講座
7	11月1日(木)	「笑い与健康」 講演と落語	落語家 笑福亭 昌好

※講座時間はいずれも13時30分～15時30分

滋賀県レイカディア大学 第41期 学生の募集について

【滋賀県レイカディア大学とは】

滋賀県社会福祉協議会では、高齢者が新しい知識と教養を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援するため滋賀県レイカディア大学を開設しています。

【修業年限】

平成30年10月～平成32年9月の2年間

【入学資格】

現に県内に居住し、平成30年10月1日時点において60歳以上の人で、大学設置の趣旨を理解し、学習意欲に富み、通学および各種講義に出席できる健康な人。また、卒業後、学習の成果を生かした地域活動等に意欲がある人。なお、過去に入学を許可された人の応募はできません。

【授業料】

授業料は、各学年、前期・後期ともに25,000円です。ただし、教材費、傷害保険料、見学・研修の経費および自主活動等に要する経費等は学生の負担とします。

【出願手続き等】

募集要項および入学願書は、社会福祉協議会、まちづくりセンター、または老人クラブ連合会などにあります。また、びわこシニアネット(<http://www.e-biwako.jp/>)からダウンロードすることもできます。

入学願書は、募集要項をよく読んで必要事項を記入のうえ、下記まで郵送してください。

【入学願書受付期間】

6月1日(金)から7月31日(火)

【問合せ・申込先】

〒525-0072
 滋賀県草津市笠山7-8-138
 滋賀県レイカディア大学草津校 (本部)
 ☎077-567-3901

民生委員・児童委員にご相談ください

問 社会福祉課 (☎65-6536)

それぞれの地域には、長きにわたり、支援が必要な人と関係機関をつなぎ、また、人とひと、人と地域とを結び、献身的な活動を続けている民生委員・児童委員の皆さんがいます。
 高齢者やしょうがいのある人への支援が必要なおとき、子育て・介護での心配事や不安など、困ったことがあるときは、一人で悩まず、地域の身近な相談役の民生委員・児童委員、主任児童委員へお気軽にご相談ください。

民生委員・児童委員の活動

民生委員・児童委員は次のような活動をしています。
○調査と実態把握
 地域住民の生活状態を、必要に応じて適切に把握することに努めています。

○相談・援助、情報提供

援助を必要とする人が、自立した日常生活を送れるよう、生活に関する相談に応じ、助言その他の援助を行います。
 また、福祉サービスを適切に利用するために必要な情報の提供を行います。

○関係団体との連携や行政機関への協力

社会福祉を目的とする事業者や団体等との連携を深め、その事業や活動を支援するとともに、行政機関の業務に協力します。

○地域福祉活動と民生委員児童委員協議会活動

地域で暮らす人の福祉の増進を図るための活動を、必要に応じて行います。また、地区の民生委員・児童委員で組織する「民生委員児童委員協議会」で、委員同士の情報交換や連絡調整を図る例会(月に1回程度)等の活動や、資質の向上を図るための研修会に参加します。

主任児童委員の活動

主任児童委員は、民生委員・児童委員の中で児童福祉に関する事項を専門的に担当する委員で、地区ごとに選任されています。
 児童福祉に関する機関と担当地区の民生委員・児童委員との連絡調整や援助および協力を行います。



神田山だいすき！ お相撲だいすき！

長浜南幼稚園には、素敵な宝物があります。一つは「神田山」です。本園は神田山に隣接しているため、春は心地よい風を全身に感じながらの坂すべり、夏はロープ登りやマラソンの後に木陰でひと涼み、秋は落ち葉やキノコ、木の実を探検、冬は、冬は広い斜面でそりすべりなど、四季を通じて思う存分遊ぶことができます。そうした活動を通して、子どもたちの体力

が向上し、四季折々の自然に肌を感じながら、五感も豊かになります。これらが感動体験としてため込まれ、幼児期に必要なたくましい身体や豊かな心の育成に結びつくと考えています。

もう一つの宝物は、「土俵」です。西黒田地域は、金太郎伝説をテーマにしたまちづくりが進められています。園庭にも土俵があり、月1回、「すもうの日」を決めて、相撲遊びを行っています。勝負に負けることが悔しくて泣く子や、なかなか勝てない子も出てきます。しかし、そこでくじけずに、何度も挑戦することで、強い心が育っていきます。また、「お願いします」「ありがとう」「おぎないます」と大きな声で挨拶したり、「よくがんばったね」とねぎらいの言葉をかけたりするなど、礼儀と、相手



▲園庭の土俵での相撲遊び

を思いやる気持ちも大切にしています。その他にも、地域の相撲大会に声をかけていたり、宮城野部屋合宿の子ども相撲で、横綱白鵬と同じ土俵に上がったなど、貴重な経験をいただいています。
 いつも園児たちのことを気にかけて、温かく応援して下さる地域の人々に、感謝の気持ちをもち続けてほしいと、心から願っています。



▲神田山でのそりすべり

めざす子ども像

- 一、夢や目標をもち、それに向かって努力する子
- 一、思いやりのある心のやさしい子
- 一、ふるさとを愛し、誇りをもって生きる子

長浜子どものちがい

～わたしたちはちがいます～

- 一、元気にあいさつをします
- 一、名前を呼ばれたら「はい」と返事をします
- 一、「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言います
- 一、困っている人がいたら言葉をかけます
- 一、人の話をしっかり聞きます

長浜子育て憲章

～おとなが実践します～

- 一、子どもに誠実に生きる姿を見せます
- 一、見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
- 一、ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
- 一、自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
- 一、長浜に誇りを持ち、地域に貢献する子どもを育てます